










# 支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和 7年 4月 22日	所 属	080100 市議会事務局
-----	--------------	-----	---------------

年度	令和 7. 年度	会計	01 一般会計	予算区分	0 現年度
----	----------	----	---------	------	-------


科 目	款	01 議会費
	項	01 議会費
	目	01 議会費
	事業	040000 議会調査研究事業
	節	18 負担金、補助及び交付金
	細節	90 その他
	細々節	06 政務活動費

金額	8,000,000円	控除	所得 税	0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	1回		雇用保険料	0円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000円		その他	0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	8,000円		控除額合計	0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,192,000円		請求書番号		
源泉支払内容	*****				

件名	研究研修費 4/15開催 焼却炉研修会講師謝礼分担金 @2,000円×4人
----	---------------------------------------

摘要	
----	--

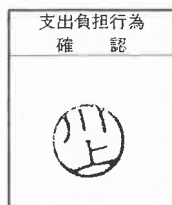
債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月12日
	住所			
	名称	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所		領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		

上記の金額を領収しました。令和7年 5月12日

支払済
-----









令和 年 月 日 泉大津市 会計管理者 あて



001 負担行為番号 07-000299  
 伝票番号 呼出番号  
 07-000770  
 整理番号 07-000006-01 00671400



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括 主査	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年4月15日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名  
代表者名

大阪維新の会  
岡本笑明



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	8,000円		
内 訳	令和7年4月15日開催 焼却炉研修会講師謝礼分担金 @2,000円×4人		
支払先	インターテクモ株式会社 岡澤 宏行		
予算科目	研究研修費	交付残額	1,192,000円
使用者名	大阪維新の会		

# 令和7年4月15日開催

## 焼却炉研修会講師謝礼分担金

支払先 インターテクモ株式会社 岡澤 宏行  
東京都中央区銀座2-14-9

講師謝礼	30,000 円
合計 ①	30,000 円

① ÷ 参加議員数	30,000 円	÷	15 人	=	2,000 円 ②
--------------	----------	---	------	---	-----------

### 【分担額】

① 28,000円 (政務活動費)

日本共産党 ② × 2 人	4,000円
市民未来の会 ② × 2 人	4,000円
公明党 ② × 3 人	6,000円
大阪維新の会 ② × 4 人	8,000円
市民クラブ ② × 2 人	4,000円
泉大津創志会 ② × 1 人	2,000円

② 2,000円

泉大津創志会 ② × 1 人	2,000円
-------------------	--------

① + ② = 30,000円



# 領 収 書

泉大津市議会 様

金 30,000 円也

※講師謝礼として上記正に領収いたしました。

令和7年4月15日

住所 東京都中央区銀座2-14-9

氏名 佐々木 株式会社

岡澤 宏 行



インターテクモ株式会社

GIA.GG.

代表取締役 岡澤宏行

〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-9 GFビル4F  
TEL: 03-3547-3364 FAX: 03-3547-3365  
E-mail: okazawa@tec-m.jp <http://www.tec-m.jp>  
携帯: 080-4468-4070

環境・省エネ・省コストのトータルソリューション










- ①空調、冷蔵、冷凍機省エネ機器製造・販売
- ②セントラル、ビルマルチエアコン省エネ
- ③環境省ほか補助金コンサル及び申請代行
- ④再生エネルギー(太陽光、コージェネ)コンサル
- ⑤各種再生資源回収装置




営業所

〒107-0062 東京都港区南青山2-22-19 アドバンテック南青山ビル6階  
TEL: 03-5786-0595 FAX: 03-5786-0183

# 支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検取者 /	


起票日	令和 7年 4月 22日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 7 年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
目	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	10,961 円	控除	所得税 0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	2回		雇用保険料 0円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他 0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	18,961 円	請求書番号	控除額合計 0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,181,039 円			備品台帳記載済 
源泉支払内容	*****			

件名	備品購入費 ポータブルハードディスク[BUFFALO] 500GB
----	-----------------------------------

摘要	
----	--

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月12日
住所			
名称	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号		


領住所			領収印	
氏名	大阪維新の会代表者 岡本 笑明			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和 令和7年 5月12日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認


001

負担行為番号

07-000299

伝票番号

07-000771

整理番号









07-000006-02

呼出番号

00671402



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
覧								


別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和7年4月17日

泉大津市長  
南 出 賢 一 様  
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名  
代 表 者 名

大阪維新の会  
岡本笑明 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	10,961円		
内 訳	ポータブルハードディスク[BUFFALO] 500GB HD-PCG500U3-BA		
支 払 先	株式会社ヤマダデンキ テックランド泉大津店		
予 算 科 目	備品購入費	交付残額	1,181,039円
使 用 者 名	堀口 陽一		

発行日:2025年04月17日

大阪雑新の会

領収書

様

管理No. 0337-408-0006636

伝票No. 0337-408-196017

¥10,961 (内消費税 ¥996)

但し ハードディスク 代として。

友払内訳  
現金

¥10,961

10%対象

¥10,961(内消費税

¥996)

上記の金額正に領収いたしました。

株式会社ヤマダデンキ  
群馬県高崎市栄町1-1  
登録番号:T2070001036729

※印刷面を内側に折って保管願います。

税務署承認済  
付印紙税  
印紙税  
申請書



B0337408196017B

7153620017 HDPCG500U3BA P50

5008Bカ 1:持帰 外10

¥10,490

-¥525

ZZZ

¥0

会員値引対象(5%)

9006108017 カイン社 行特約

デ-キャッシュ 1:持帰 外10

会員値引額計

小計

消費税

税引

合計

(内消費税

¥10,961

¥996)

-¥525

¥9,965

¥10,961

0P

0P

¥10,961

¥996)

10%対象

(内消費税

¥10,961

¥996)

◆お客様がインフォメーション

ポイント会員No \*9012919181137

前回累計ホ. 外285P

値引ホ. 外0P

今回累計ホ. 外285P

値引ホ. 外0P










今回累計ホ. 外285P

シルバークレジット

あとも100,137円のご購入で

ゴールドランクになります。

# 支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者 /	

起票日	令和 7年 4月 22日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 7年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
目	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
細々節	06 政務活動費		

金額	18,500円	控除	所得税 0円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	3回		雇用保険料 0円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000円		その他 0円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	37,461円	請求書番号	控除額合計 0円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,162,539円			
源泉支払内容	*****			

件名	旅費 5/7~5/8 総務省視察旅費
----	--------------------

摘要	
----	--

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月 - 2日
	住所			
	名称	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所			領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本 笑明			

上記の金額を領収しました。

支払済
-----

令和 7年 5月 - 2日  
 泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認


002  負担行為番号  
 07-000299  
 伝票番号 呼出番号  
 07-000772  
 整理番号  
 07-000006-03 00671403



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

令和7年4月21日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 大阪維新の会  
代表者名 岡本 笑明



政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	18,500円		
内 訳	5/7~5/8 総務省(東京都千代田区霞ヶ関2-1-2)視察旅費 (全国自治体病院経営都市議会協議会定期総会)		
支払先	堀口 陽一		
予算科目	旅費	交付残額	1,162,539円
使用者名	堀口 陽一		

令和7年度

# 出張申請書

(出張)


会派名	大阪維新の会			氏名	堀口 陽一			
出発・帰庁年月日		出発 令和7年5月7日		帰庁 令和7年5月8日				
出張先(順路)		総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) (都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1))						
目的及び用件		地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) (全国自治体病院経営都市議会協議会 第53回定期総会に出席)						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線) 難波   (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港	km	円	円	円	円	円	円	円
"   (飛行機) 羽田空港								
羽田空港第1ターミナル   (東京モノレール) 浜松町								
"   (JR山手線) 有楽町								
"   (東京外口有楽町線) 麴町								
"   ( 線) 復路					1泊 15,000	2日 3,500		18,500
"   ( 線)			5月7日-8日の宿泊料(1泊分と)5月7日の日 当以外の旅費については、議会運営事業- 旅費-費用弁償で支出する。				計	18,500
"   ( 線)								
"   ( 線)								
"   ( 線)								
"   ( 線)								

主管課用

令和7年度

# 領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	堀口 陽一				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年5月7日		帰庁 令和7年5月8日				
出張先(順路)		総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) (都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1))						
目的及び用件		地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) (全国自治体病院経営都市議会協議会 第53回定期総会に出席)						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線) 難波	km	円	円	円	円	円	円	円
なんば駅前   (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港								
"   (飛行機) 羽田空港								
羽田空港第1ターミナル   (東京モノレール) 浜松町								
"   (JR山手線) 有楽町								
"   (東京外有楽町線) 麹町								
"   ( 線) 復路					1泊 15,000	2日 3,500		18,500
		5月7日-8日の宿泊料(1泊分)と5月7日の日当以外の旅費については、議会運営事業-旅費-費用弁償で支出する。					計	18,500
( 線)								
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 1 8 5 0 0			
令和 年 月 日				職名	大阪維新の会			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	堀口 陽一  印			

全議第 468 号  
令和 7 年 3 月 18 日

加盟都市議会議長 各位

全国自治体病院経営都市議会協議会  
会 長 喜 多 浩 一  
(金沢市議会議長)

### 第53回定期総会の開催について

標記会議を下記のとおり開催しますので、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、出欠につきましては、令和 7 年 4 月 11 日 (金) までに全国市議会議長会ホームページのオンライン調査・回答システム(別添『『オンライン調査・回答システム』による出欠回答について』参照)によりご回答ください。

#### 記

- 1 日 時 令和 7 年 5 月 8 日 (木) 午後 2 時
- 2 場 所 都市センターホテル 3 階「コスモスホール」  
東京都千代田区平河町 2-4-1  
Tel: 03-3265-8211 (代表)
- 3 議 題 (1) 令和 6 年度決算について  
(2) 令和 7 年度事業計画 (案) について  
(3) 令和 7 年度予算 (案) について  
(4) 総会決議 (案) について

※ 定期総会終了は、午後 3 時 40 分頃を見込んでおります。

※ 議長交代等により 4 月 11 日までにご報告いただけない場合は、事前に担当までご連絡いただきますようお願いいたします。

※ 当日はクールビズ励行期間中ですので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

※ お車でお越しの際は、会場の都市センターホテル (有料)、又は周辺の有料駐車場をご利用下さるようお願いいたします。

担当：全国市議会議長会 政務第二部 杉原・長嶋  
TEL 03-3262-5236 FAX 03-3263-5751





Web cfbcd18c983dfdf81edc9e8bc23f0aff  
2025年4月17日

## 領収書

下記の金額正に領収いたしました。

様

金額 27,600円 (税込み)

但し	運賃として
航空券番号	1312222467794
航空券発行日	2025年4月17日
発行所	日本航空
備考	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

消費税率：10%

この領収書は電子で発行しました。

日本航空株式会社  
登録番号 T7010701007666

## ご利用旅程・運賃明細

ホリグチ ヨウイチ 様

2025年5月7日 (水)

13:30 大阪(伊丹)

14:40 東京(羽田)

運賃：往復セイバー

クラス：普通席

便名： JAL 118

27,600 円

2025年5月8日 (木)

17:35 東京(羽田)

18:40 大阪(伊丹)









運賃：往復セイバー

クラス：普通席

便名： JAL 131

合計金額 27,600円

□決 裁      ■供 覧

受発記号・番号		收受年月日	令和7年6月17日		
差出 名	大阪維新の会 堀口 陽一				
あて 名	泉大津市議会議長			提出期限	
收受文書の記号		收受文書の日付	令和7年5月27日		
件 名	報告書				
	議長	副議長	事務局長	次長	
					合
主 管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	主査	係員	
					議
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
<p>日 時：令和7年5月7日（水）～5月8日（木）</p> <p>出張先：総務省【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">プロトスター株式会社【2日目】</p> <p>目 的：地域経済循環型創造事業支援交付金について【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">スタートアップ支援について【2日目】</p>					

会派代表



# 報 告 書

令和6年5月27日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 堀口 陽



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

## 記

1. 日 時 令和7年5月7日(水)～5月8日(木)
2. 出張先 総務省、プロトスター株式会社
3. 目 的 地域経済循環創造事業交付金について(総務省)  
スタートアップ支援について(プロトスター株式会社)
4. 報告事項 別紙添付

## 報告事項

### ①地域経済循環創造事業交付金

地域経済循環創造交付金は、新規事業立ち上げの支援を目的として資金を援助することによって、地域の人的支援、経済的支援をサポートすることで、地域経済の活性化を図ることを目的とした事業です。

補助金額の上限については5,000万円で、先ず地域金融機関からの無担保融資が原則として必要で、そこに国と地方公共団体が共同で負担する形となります。

補助率は原則として1/2で、交付金の内容として施設整備費、機械整備費、備品費、調査研究費が補助対象となり、地方公共団体が1/2を負担しますが、特別交付税措置により実質的な負担は1/4となります。

事業として求められるものは新規事業であること、若しくはモデル事業になり得るものです。

更には地域課題の解決に資するものが、望ましいとされています。

この事業については、新規事業の特にイニシャルコストについて支援するもので、地域資源を活用して他の事業にも波及効果をもたらすような事業を求めています。

例として農産物や観光資源を活用して地域が潤う仕組みが構築されれば、この事業の目的が達成されます。

地域金融機関の融資を通じて地域循環型社会の実現を目指すところです。

活用事例ではスマート農業における椎茸栽培や、地域資源を活用した加工品開発や、古民家を活用したカフェやレストラン、宿泊施設また、地ビール製造や陸上養殖、水産養殖と多岐に渡ります。

本交付金は、地域資源を活用して、新たなビジネスチャンスをつくり出す重要な制度です。

課題としては地域金融機関の積極的な関わりと地方公共団体の連携が不可欠であり、国はあくまでこの両者をサポートする形での資金援助です。

大阪府内での実用化が少ないため、今後は行政の積極的なかわりが求められるところだと強く感じました。

## ② プロトスター株式会社によるスタートアップ

プロトスター株式会社は鳴門市のベンチャーキャピタルにおいてスタートアップの起業家支援をしています。

挑戦者と共により良い時代をつくることをコンセプトに、イノベーション市場があると言う考え方で各事業に取り組んでいます。プロトスター株式会社は社員 20 名で、起業 9 年目の会社で企業マッチング 1 万社以上の登録があります。

2 軸でアライアンス支援を行っています。1 つ目はスタートアップ企業に対する資金調達の M&A で、2 つ目が若い企業を育てるイグジットです。

また、鳴門市との連携では、鳴門市が独自のアカデミープログラムを作成して、指導をプロトスターに依頼する形式です。創業 10 年以内の企業に、大企業は注目しています。イグジット、IPO、M&A、エクイティによる企業の可能性を探る形です。

特に起業家へのメンタリングは、相談があればいつでも対応する等、従来とは異なる形で成長を手助けしています。

また、鳴門市のケースではマッチングイベントを開催して、ある程度、出来上がっている企業を紹介するケースもあります。

その内 3 つのパターンがあり、現時点の居住者、Uターン者、Iターン者です。

分野別では、ヘルスケア、介護、グローバルに進める領域があり、スタートアップを生み出す仕組みを模索しています。

こうした企業が関わることで、地方からひとつでもスタートアップできる仕組みをつくるのが、重要だと強く感じました。

# 支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
				**		**		

起票日	令和 7年 5月 1日	所属	080100 市議会事務局
年度	令和 7年度	会計	01 一般会計
科目	款 01 議会費	予算区分	0 現年度
目	項 01 議会費		
	目 01 議会費		
	事業 040000 議会調査研究事業		
	節 18 負担金、補助及び交付金		
	細節 90 その他		
	細々節 06 政務活動費		

金額	52,960 円	控除	所得 税 0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	4 回		雇用 保険料 0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		そ の 他 0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	90,421 円	請求書番号	控除額合計 0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,109,579 円			
源泉支払内容	*****			

件名 旅費 5/7~5/8. 総務省及びプロトスター株式会社視察旅費。

摘要 西条議員

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月16日
	住所			
	名称	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		

領収	住所			領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本 笑明			

上記の金額を領収しました。

支払済

令和 7年 5月 1日  
泉大津市 会計管理者 おて

支出負担行為  
確認

001

負担行為番号

07-000299

伝票番号

07-001199

整理番号




07-000006-04

呼出番号

00673897



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年4月30日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 大阪維新の会  
代表者名 岡本笑明 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	52,960円		
内 訳	令和7年5月7日（水）～8日（木） 地域経済循環創造事業交付金についての調査（総務省） スタートアップ支援についての調査（PROTOSTAR）		
支払先	西條 徹		
予算科目	旅 費	交付残額	1109,579円
使用者名	西條 徹		

令和7年度

# 出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	西條 徹				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年5月7日		帰庁 令和7年5月8日				
出張先(順路)		総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)						
目的及び用件		地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) スタートアップ支援についての調査(PROTOSTAR)						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		490						490
"   (大阪外口御堂筋線)								
新大阪		290						290
"   (東海道新幹線)	556.4		特急料金 (のぞみ)	(閑散期)				
東京		8,910	5,810	△ 200				14,520
"   (JR山手線)								
有楽町								
"   (東京外口有楽町線)					1泊	2日		
麹町		180			15,000	7,000		22,180
"   ( 線)			特急料金 (のぞみ)	(閑散期)				
復路		9,870	5,810	△ 200				15,480
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
							計	52,960

主管課用









令和7年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会		氏名	西條 徹				
出発・帰庁年月日		出発 令和7年5月7日		帰庁 令和7年5月8日				
出張先(順路)		総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)						
目的及び用件		地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) スタートアップ支援についての調査(PROTOSTAR)						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
"   (大阪外口御堂筋線) 新大阪		290						290
"   (東海道新幹線) 東京	556.4	8,910	特急料金 (のぞみ) 5,810	(閑散期) △ 200				14,520
"   (JR山手線) 有楽町								
"   (東京外口有楽町線) 麹町		180			1泊 15,000	2日 7,000		22,180
"   (線) 復路		9,870	特急料金 (のぞみ) 5,810	(閑散期) △ 200				15,480
"   (線)								
"   (線)								
"   (線)								
"   (線)								
"   (線)								
"   (線)								
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 5 2 9 6 0		
令和 年 月 日					職名	大阪維新の会		
泉大津市会計管理者 殿					氏名	西條 徹 印		

□決 裁      ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和7年6月17日							
差出 名		大阪維新の会 西條 徹										
あて 名		泉大津市議会議長				提出期限						
收受文書の記号				收受文書の日付	令和7年5月20日							
件 名		報告書										
議長		副議長		事務局長		次長		合				
												
主 管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長		主査		係員		議				
												
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項												
<p>日 時：令和7年5月7日（水）～5月8日（木）</p> <p>出張先：総務省【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">プロトスター株式会社【2日目】</p> <p>目 的：地域経済循環型創造事業支援交付金について【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">スタートアップ支援について【2日目】</p>												

会派代表



# 報 告 書

令和7年5月20日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 西條 徹



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

## 記

1. 日 時 令和7年5月7日(水)～5月8日(木)
2. 出張先 総務省、プロトスター株式会社
3. 目 的 地域経済循環創造事業交付金について(総務省)  
スタートアップ支援について(プロトスター株式会社)
4. 報告事項 別紙添付

## 報告事項

### 地域経済循環創造事業交付金について（総務省）

地域経済循環創造事業交付金は、地域の人的資源、資金、資源を活用した新たなビジネスの立ち上げを支援し、地域経済の活性化を図ることを目的としています。かつては複数の名称およびメニューが存在しましたが、現在はほぼ「地域経済循環創造事業交付金」という名称に一本化されています。

補助上限額は最大で 5000 万円であり、国と地方公共団体が共同で負担します。補助率は原則として 1/2 です。本交付金の特徴として、施設整備費、機械装置費、備品費、調査研究費が対象経費となる点が挙げられます。地方公共団体の予算措置が必要であり、原則として地方公共団体も 1/2 を負担しますが、特別交付税により実質的な負担は 1/4 となります。地域金融機関からの無担保融資が原則として必要となります。事業は、地域課題の解決に資するものである必要があり、新規性およびモデル性が求められます。交付申請は毎月受け付けられています。

これは、地域の人材、資源、資金を活用した新たなビジネスの立ち上げを支援するものであり、特に初期投資費用を支援します。地域の資源（農産品、観光資源等）を活用し、地域内の他の事業者にも利益をもたらすような事業が対象となります。既存事業の単なる拡大や設備の買い替えは対象となりません。地域金融機関からの融資を通じて、地域内での資金循環を促します。

活用事例として、農業分野におけるスマート農業による椎茸栽培や地域資源を活用した加工品開発、伝統工芸産業における新たな販路開拓や技術革新、観光分野における古民家を活用した宿泊施設・レストラン整備や体験型観光プログラム開発、製造業における地域資源を活用した新製品開発、その他、地ビール製造、水産養殖（陸上養殖を含む）、木質バイオマスエネルギー活用などが紹介されました。

申請の流れは、まず事業者が事業計画を策定し、所在地の地方公共団体に相談します。地方公共団体が支援を決定した場合、総務省に問い合わせを行います。総務省は有識者による審査会で事業計画を審査し、審査通過後、地方公共団体を通じて交付申請が行われ、総務省が交付決定を行います。

対象事業の新規性については、創業だけでなく、既存企業による新たな事業領域への進出も対象となります。地域金融機関の役割は、資金調達に加えて事業の採算性評価においても重要であり、無担保融資が原則となります。地方公共団体の役割は、交付金の申請主体であり、地域課題の解決に資する事業であるかの判断、予算措置を行うことです。公平性の確保のため、地方公共団体によっては有識者による審査会や公募形式が採用されています。同一業種・類似事業の重複は、モデル性の観点から認められない場合があります。事業者負担は事業費全体の1/2以上となり、残りの1/2を国と地方公共団体が原則として半分ずつ負担します。本交付金は開始から約10年が経過しており、昨年度から予算規模も拡大していることから、今後も継続される可能性が高いと考えられます。都市部においても、地域資源や地域特性を活かした事業での活用が期待されます。相談窓口としては、まず所在地の地方公共団体に相談することが推奨されます。

本交付金は、地域の潜在的な資源を活かした新たなビジネス創出を支援し、地域経済の活性化を目指す重要な制度です。柔軟な活用が期待できる一方で、地方公共団体の積極的な関与と地域金融機関との連携が不可欠であることが改めて認識されました。本市の活性化に向け、本交付金の活用を積極的に検討していく必要があると考えられます。

## スタートアップ支援について（プロトスター株式会社）

会社が考えている、自治体がスタートアップを呼び込んだり育てたりする際の主なターゲット層には、主に三つのタイプがあります。一つ目は、今その地域に住んでいる人が会社を作るのを応援する「地元の人応援タイプ」です。二つ目は、地元出身で学校や仕事で一度地域を離れた人が戻ってきて会社を作るのを応援する「Uターン応援タイプ」です。そして三つ

目が、その地域に特別なつながりはないけれど、街の文化や人に魅力を感じて引っ越してきて会社を作る人を応援する「Iターン応援タイプ」です。それぞれの自治体が、自分たちの街はどのタイプの人を呼び込むのが得意なのかをよく考え、計画を立てることが大切だそうです。例えば、徳島県鳴門市では、Uターンで人を呼び戻すのがなかなか難しいため、Iターンで外から新しい人を呼び込むか、今住んでいる人を育てることに力を入れて活動しているとのことでした。










京都市のスタートアップを応援する方法には、他とは違うユニークな特徴があるそうです。多くの場所では会社が早く大きくなって株を売るなどして利益を出すこと（イグジット）を求めがちですが、京都ではそうではなく、10年、20年、30年といった長い時間をかけて地域にしっかり根づいて成長していく会社を応援する雰囲気があります。そのため、薬を作る会社や高度な新しい技術を研究する会社（ディープテック系）など、研究開発に時間がかかるタイプの会社が集まりやすいという特徴があります。しかしその一方で、京都は街の美しい景色を守るために建物の高さなどに制限があるため、新しいオフィスビルを建てにくく、会社が大きくなった時にオフィスが足りなくなり市外へ引っ越さなければならなくなるという困った点も抱えています。

もし泉大津市に何か提案するとしたら、まず一つ目は、「地元の魅力 × 新しい会社」の成功パターンを作ることです。これは、鳴門市など他の地域でも挑戦しているように、その地域ならではの資源や困っていることと新しい会社を結びつけ、その成功パターンをよく調べて他の地域でも使えるような共通の仕組みを作ることに関心があるということです。

次に、日本の「困りごと先進国」という特徴を活かした応援が挙げられます。日本は世界の中でも高齢化など、いろいろな社会の困りごとに関心を持って取り組んでいる「課題先進地域」だと言えます。特に健康（ヘルスケア）、介護、生命科学（ライフサイエンス）、お年寄り向けのサービスといった分野では、日本国内の困りごとを解決するビジネスが将来的に世界で役立つ（グローバル市場展開）可能性があるという考えです。これらの困りごとは東京のような大都市よりも地方の方がよりはっきりしているため、地方

から生まれる新しい会社が力を発揮しやすい分野だと考えられています。泉大津市は大阪などの都市部に近いというアクセスの良さや新しいことに挑戦しようという意欲があるという強みがあります。このような泉大津市の良い点と社会の困りごとを解決しようとする新しい会社を結びつけることで、世界で活躍できるような会社に育てるお手伝いができるのではないか、という考えが示されました。

# 支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検取者 /	


起票日	令和 7年 5月 1日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 7 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
目	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	
予算区分	0 現年度		

金額	52,960 円	控除	所得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支払回数	5 回		雇用保険料	0 円	源泉徴収確認
負担行為額	1,200,000 円		その他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	143,381 円	請求書番号	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	1,056,619 円				
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 5/7~5/8 総務省及びプロトスター株式会社視察旅費,
----	---------------------------------

摘要	黒川 議員
----	-------

債権者等	支払方法	21 現金払	支払希望日	令和7年 5月16日
	住所			
	名称	大阪維新の会代表者 岡本 笑明		
	役職等/氏名			
	銀行/口座			
	口座名義人	債権者番号		


領収	住所			領収印	
	氏名	大阪維新の会代表者 岡本 笑明			

上記の金額を領収しました。

支払済
-----

令和 7年 5月 16日

泉大津市 会計管理者 あん

支出負担行為 確認


001



負担行為番号  
07-000299

伝票番号

07-001200

整理番号








07-000006-05

呼出番号

00673899



07 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06


供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長	総括主査	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和7年4月30日

泉大津市長  
南出賢一様  
(泉大津市議会議長経由)

会派名 大阪維新の会  
代表者名 岡本笑明  印

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	52,960円		
内 訳	令和7年5月7日（水）～8日（木） 地域経済循環創造事業交付金についての調査（総務省） スタートアップ支援についての調査（PROTOSTAR）		
支払先	黒川 俊明		
予算科目	旅 費	交付残額	1056.619
使用者名	黒川 俊明		

令和7年度

# 出張申請書

(出張)

会派名	大阪維新の会			氏名	黒川 俊明			
出発・帰庁年月日		出発 令和7年5月7日			帰庁 令和7年5月8日			
出張先(順路)		総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)						
目的及び用件		地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) スタートアップ支援についての調査(PROTOSTAR)						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
"   (大阪外口御堂筋線) 新大阪		290						290
"   (東海道新幹線) 東京	556.4	8,910	特急料金 (のぞみ) (閑散期) 5,810	△ 200				14,520
"   (JR山手線) 有楽町								
"   (東京外口有楽町線) 麹町		180			1泊 15,000	2日 7,000		22,180
"   ( 線) 復路		9,870	特急料金 (のぞみ) (閑散期) 5,810	△ 200				15,480
( 線)							計	52,960
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								
( 線)								

主管課用

令和7年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	大阪維新の会	氏名	黒川 俊明
出発・帰庁年月日	出発 令和7年5月7日	帰庁	令和7年5月8日
出張先(順路)	総務省(東京都千代田区霞が関2-1-2) 都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)		
目的及び用件	地域経済循環創造事業交付金についての調査(総務省) スタートアップ支援についての調査(PROTOSTAR)		

区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津   (南海本線) 難波	km	円 490	円	円	円	円	円	円 490
"   (大阪外口御堂筋線) 新大阪		290						290
"   (東海道新幹線) 東京	556.4	8,910	特急料金 (のぞみ) (閑散期) 5,810	△ 200				14,520
"   (JR山手線) 有楽町								
"   (東京外口有楽町線) 麹町		180			1泊 15,000	2日 7,000		22,180
"   (線) 復路		9,870	特急料金 (のぞみ) (閑散期) 5,810	△ 200				15,480
(線)							計	52,960
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								
(線)								

右の金額領収いたしました。

令和 年 月 日

金額	¥	5	2	9	6	0
----	---	---	---	---	---	---









泉大津市会計管理者 殿

職名 大阪維新の会

氏名 黒川 俊明



□決 裁      ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	令和7年6月17日			
差出 名		大阪維新の会 黒川 俊明						
あて 名		泉大津市議会議長				提出期限		
收受文書の記号				收受文書の日付	令和7年5月16日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合
								
主 管	次長補佐兼 議事調査係長	庶務係長		主査		係員		議
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
<p>日 時：令和7年5月7日（水）～5月8日（木）</p> <p>出張先：総務省【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">プロトスター株式会社【2日目】</p> <p>目 的：地域経済循環型創造事業支援交付金について【1日目】</p> <p style="padding-left: 40px;">スタートアップ支援について【2日目】</p>								

会派代表



# 報 告 書

令和7年5月16日

泉大津市議会議長様

(会派名) 大阪維新の会

出張者氏名 黒川俊明



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

## 記

1. 日 時 令和7年5月7日(水)～5月8日(木)
2. 出張先 総務省、プロトスター株式会社
3. 目 的 地域経済循環創造事業交付金について(総務省)  
スタートアップ支援について(プロトスター株式会社)
4. 報告事項 別紙添付

## 報告事項

### 総務省：地域経済循環創造事業交付金についての調査

この交付金は「ローカル 10,000 プロジェクト」というサブタイトルが付いた交付金で、今回の説明を聞くまでは、この存在を知らなかったのが貴重な機会になりました。産学金官という産業・学術・金融・行政の連携で、「地域の人材・資源・資金を活用した新たなビジネスを立ち上げ育てていく」ための交付金でした。

「ローカル 10,000 プロジェクト」という名のように、「地域密着型事業」を民間・国・地方が一体となって地域に産業と雇用を生み出していくに当たり、10,000 件を全国で生み出していこうという思いが総務省には有るのだろうと推察しました。

要件の概要は、「地域資源を活用」「新規の立ち上げの事業内容：創業だけではなく既存の企業の新規事業展開も可能」「地域の新たな雇用創出が期待できる」「地域課題の解決に繋がる」「新規性・モデル性が感じられる」「地域金融機関からの融資」の 6 点です。

交付上限額は基本的に 2,500 万円で、事業費全体の 2 分の 1 までであり、この交付金は 2 分の 1 が国、2 分の 1 は市が交付するという枠組みでした。ただし、市が支出する交付金の 2 分の 1 は特別交付税措置として市に戻ってくるという仕組みです。という事は、「5,000 万円の事業費」のうち、「2,500 万円は自己調達」で、残りの「1,875 万円が国・625 万円が市」となります。

また、自己調達資金は「公費による交付額以上」を地域の金融機関からの「無担保融資」で調達しなければならないという条件が付いています。

この内容からすると、事業者にとっては非常に有益な仕組みではありますが、「まず市の合意が得られるか」「地域の金融機関が無担保で融資できる内容かつ相手先か」がポイントとなります。

逆に言えば、この 2 点のポイントをクリア出来る内容であれば、地域課題を解決し地域を活性化でき得る新しいビジネスを誘致や生み出すことが出来る交付金であるという事です。

ハードルが有るにしても、公費を使う以上は、それを上手く活用されて軌道に乗っていくことが重要ですので、このハードルを越えて、泉大津市

でこの交付金を活用できる案件が生まれれば、本市の活性化に大いに繋がると感じました。

事業費が大きな事業で前述の例を作ってみましたが、別の例で考えると、事業費が1,000万円であれば無担保の地域金融機関からの融資が500万円で125万円が市の実質負担・国の負担は375万円となり、500万円の事業であれば市の負担は62万5,000万円です。

ところが、この交付金活用で難しさは「なぜ、その企業（経営者）に交付するのか」と「同じ内容では1社のみ：事業の新規性やモデル性が問われるから」を共にクリアしなければならない点です。

しかしながら、こういった有益な交付金は活用することこそ地域活性化に繋がるので、本市で上手く活用できる仕組みを考え提案できるように研究いたします。

#### **プロトスター株式会社：スタートアップ支援についての調査**

プロトスター(株)は2016年に創業された「スタートアップ企業」の支援をしている会社です。

令和4年度から徳島県鳴門市と関係性を持ち、翌年令和5年度から連携協定を結び、「ローカル＝東京や大都市以外の地方×スタートアップ」の支援を実際に実施しておられ、詳細をお聴きすることが出来ました。

また、京都市とも連携し、京都でのスタートアップ企業のサポートにも関わっておられました。

本市で考えると、泉大津市の「地域課題の解決・特長を活かす・特産や名産物を活かす」ことを前提に、スタートアップ企業を集め育てることとなります。

スタートアップ企業とは、新興企業や起業したばかりの企業で、革新的なビジネスモデルや技術によって急成長を遂げようとする企業です。

どこの市町村や都道府県も、企業誘致を進めてはいるものの、簡単ではないのも現実です。

スタートアップ企業が、大都市で拠点を置かずに地方都市で拠点を置いて活動し、地域課題を解決しながら地域の特色を生かし、それを支援して急成長を遂げてくれれば、行政としては理想的なモデルとなります。

このモデル作りに気が付き、先進的に積極的に取り組んでいるのが先日に視察に行った徳島県鳴門市であり、その連携先の企業に詳細を聞くことで、本市にプラスを作り出せる可能性が高まります。

今後も、この分野の調査研究を進め、本市の発展に寄与できるように考え行動して参ります。